

# 址ところ

学校だより 第9号

花巻市立花巻小学校

令和5年10月27日(金)

(「址ところ」は校歌2番からとっています)



## 花小文化の「花ひらく」

### 「創立150周年記念 第28回賢治集会」

#### 【集会の進行役】



今年は、記念すべき年の賢治集会です。会を進行するのは、児童会執行部が扮する「又三郎」「山猫」「馬車別当」です。なにやら、どんぐり達が言い争いをしているようです。そして、賢治さんも懐かしの母校を訪ねて花小にやってきました・・・



#### 賢治集会 の風景

#### 【賢治作品の音楽を自分たちの手で】



賢治集会の特長は、賢治作品のよき劇化による学年ごとの劇化による劇化の進化です。また、子ども達も立ち、演劇進歩の音楽や集会の進行、合唱の伴奏など楽器演奏して自分たちで作っています。デジタル化が進む中で生活している私たちですが、手作りのよさを味わうことができました。

後半は四年生の合唱発表や全校群読「雨ニモマケズ」が披露され、会場の喝采を浴びました。また、特別企画としてゲストをお招きし、朗読と音楽を楽しみました。

発表を終えた子ども達は、達成感・満足感でいっぱいでした。たくさんの方の心温まる拍手と励ましに感謝いたします。誠にありがとうございました。

十月二十一日(土)、今年も年に一度のイーハトーブのお祭り『賢治集会』が行われました。創立百五十周年を記念して、花巻市長や教育長、歴代校長先生などたくさんのご来賓をお招きし、保護者・地域の皆様のご参観のもと、きょうだい学年が物語を演じていきました。

三・四年生の「注文の多い料理店」、二・五年生の「狼森と笹森、盗森」、一・六年生の「銀河鉄道の夜」、どの発表も情景が浮かび、リズムカルな歌や踊り、言葉の掛け合いがよく、物語の良さが表現されていました。賢治さんの心に広がっている「人間の優しさや自然の素晴らしさ」が伝わってきて、今年のテーマ「花ひらく」にあるように、賢治作品を通して花小の「文化の花」が大きく開いたように感じられました。

# きょうだい学年の発表から

## ★3年生 & 4年生 注文の多い料理店

2人の若い紳士が山奥で道に迷い、さまよっていたところに突如現れた一軒の西洋料理店「山猫軒」。喜んでお店に入った2人に次々不思議な注文が・・・3年生・4年生ともに台詞や動きがわかりやすく内容がよく伝わる演技でした。音楽隊の演奏も、物語の雰囲気盛り上げていて効果的でした。



## ★2年生 & 5年生 狼森と笹森、盗森

百姓：「ここに畑おこしてもいいかー？」森：「いいぞー」。百姓たちが森と対話したり不思議な出来事を経験したりしながら物語は進みます。台詞や動き（踊り）も工夫されていて、5年生がうまく2年生をリードしました。2年生も堂々とした演技でした。（浴衣の衣装も良かったですね）音楽隊の演奏も迫力がありました。



## ★1年生 & 6年生 銀河鉄道の夜

ジョバンニ少年はケンタウル祭の夜、銀河鉄道に乗り友人カンパネルラと旅をします。そこで出会った人たちとの関わりをとおして本当の幸いについて考えていきます。1年生は元気いっぱいの表現ができました。6年生は演技の表現力も音楽の演奏もレベルが高く、最高学年の貫禄を見せてくれ素晴らしい出来映えでした。



## 第2部は学年合唱、全校群読＋スペシャルゲスト



### 【「耕母黄昏」と「MUSIC」を披露する4年生】 【牧野幹さん、詩織さん、林さんによるステージ】

賢治集会第2部は4年生による合唱発表で幕を開けました。4年生は美しい歌声で「耕母黄昏」と「MUSIC」の2曲を演奏しました。次に、全校群読「雨ニモマケズ」の発表では、3年生全員がステージに登り、全校児童269名による見事な発表となりました。

ステージ発表のフィナーレを飾ったの「150周年特別企画 音楽と朗読～kenji no sekai～」と題して、絵本専門士牧野幹さん、フルート奏者牧野詩織さん、ピアニスト林秀さんによるステージです。「やまなし」の朗読など、賢治さんの世界に触れる素敵なひとときを過ごしました。